

7 ビューティフル・ウィンドウズ運動

-
- (1) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況
 - (2) 治安が改善していることの認知
 - (3) 居住地域の治安状況
 - (4) 区内の治安が良いと感じる点
 - (5) 区内の治安が悪いと感じる点
 - (6) 治安対策として区に力を入れてほしいこと
 - (7) 駐輪時の鍵かけ状況
-

7. ビューティフル・ウィンドウズ運動

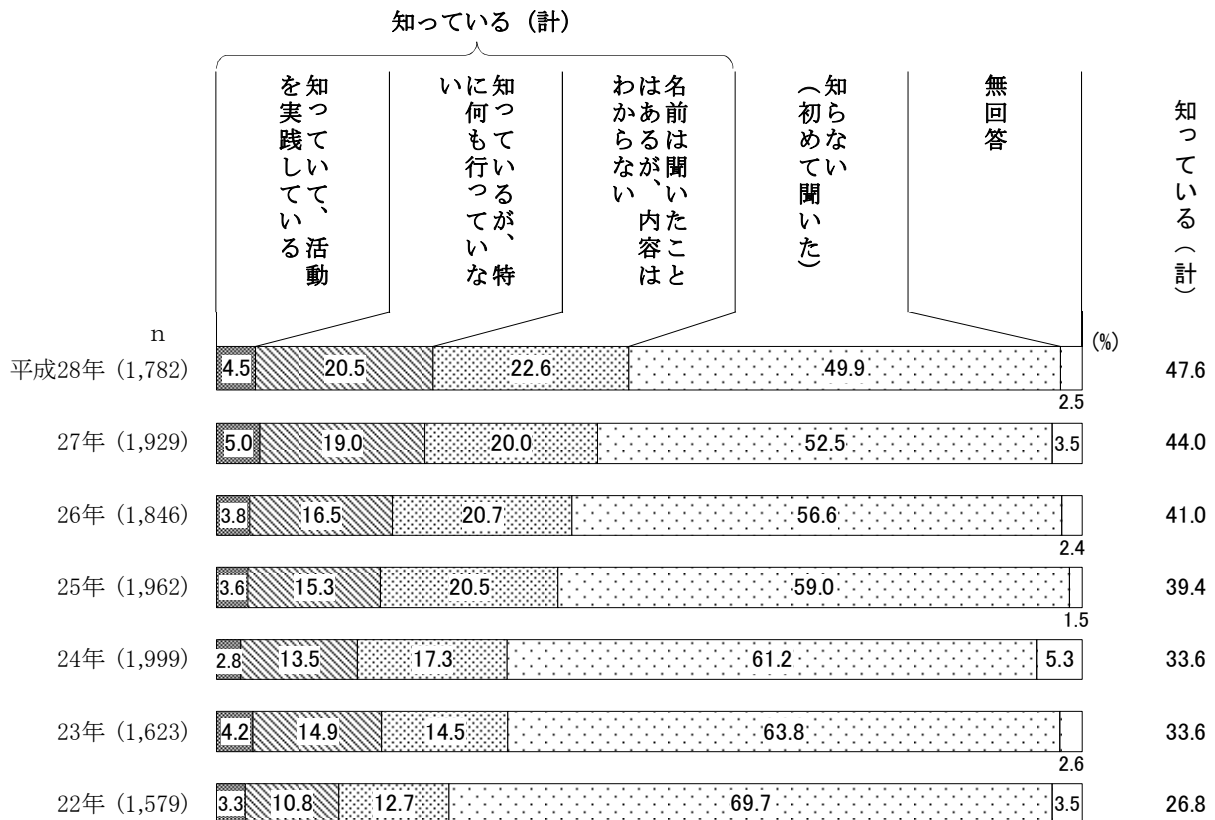
(1) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

■ 【知っている】は4割台後半になり、認知度は年々上昇している

問27 あなたは、足立区が取り組んでいる「ビューティフル・ウィンドウズ運動（※）」という取り組みを知っていますか（○は1つだけ）。

※ 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」とは「美しいまち」を印象付けることで犯罪を抑止しようという足立区独自の運動です。区は、警視庁や区民のみなさんと協働して、まちの美化活動や防犯パトロールなどの取り組みを推進し、犯罪のない住みよいまちの実現をめざしています。

図7-1-1 経年比較／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況



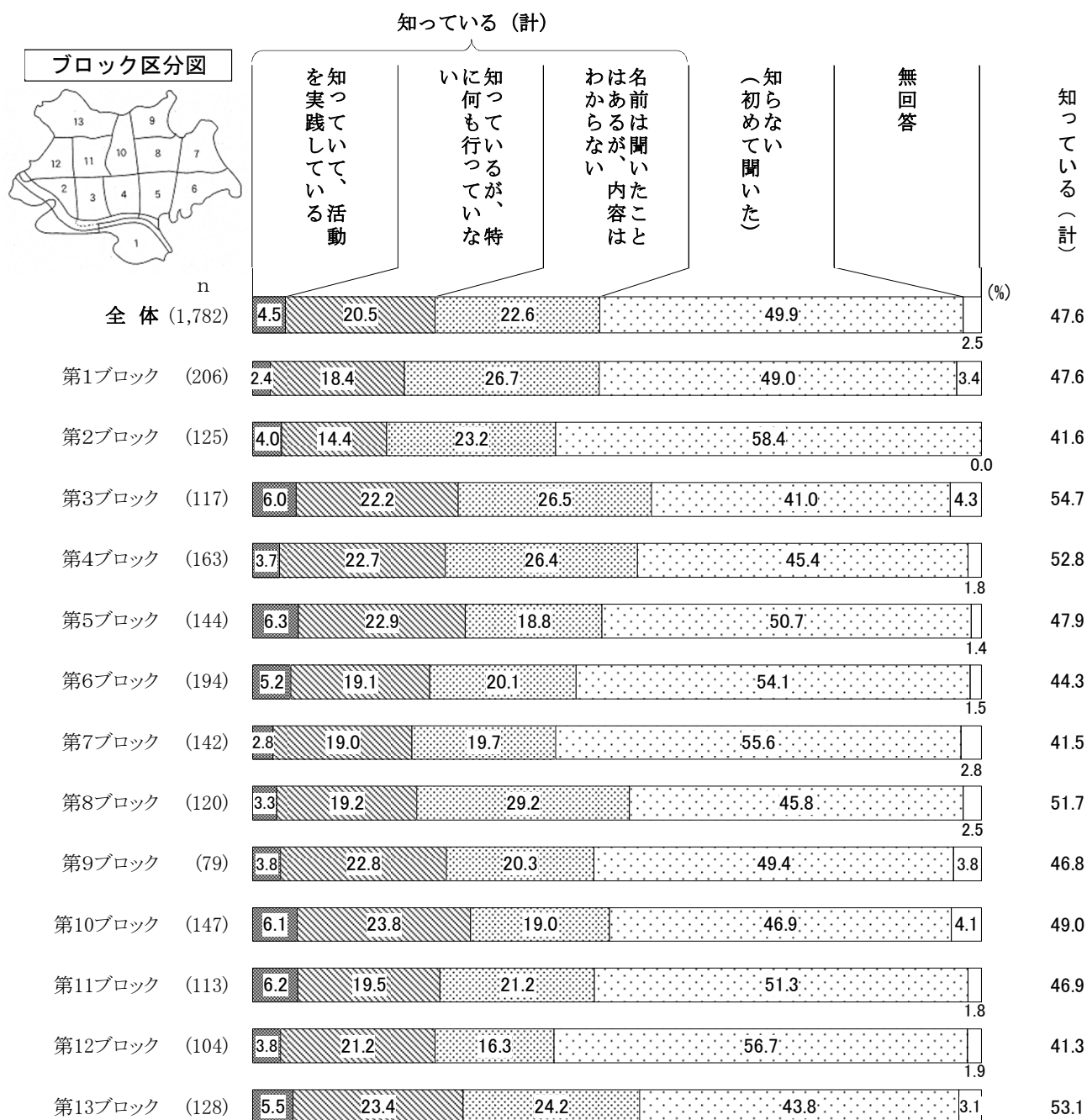
「ビューティフル・ウィンドウズ運動」について、「知っていて、活動を実践している」は4.5%で、これに「知っているが、特に何も行っていない」（20.5%）、「名前は聞いたことがあるが、内容はわからない」（22.6%）を合わせた【知っている】は47.6%となっている。

経年でみると、平成22年以降、【知っている】は増加傾向にある。

第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

地域ブロック別でみると、第3ブロック、第4ブロック、第8ブロック、第13ブロックでは【知っている】が、いずれも5割を超え、他のブロックに比べて高くなっている。

図7-1-2 地域ブロック別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

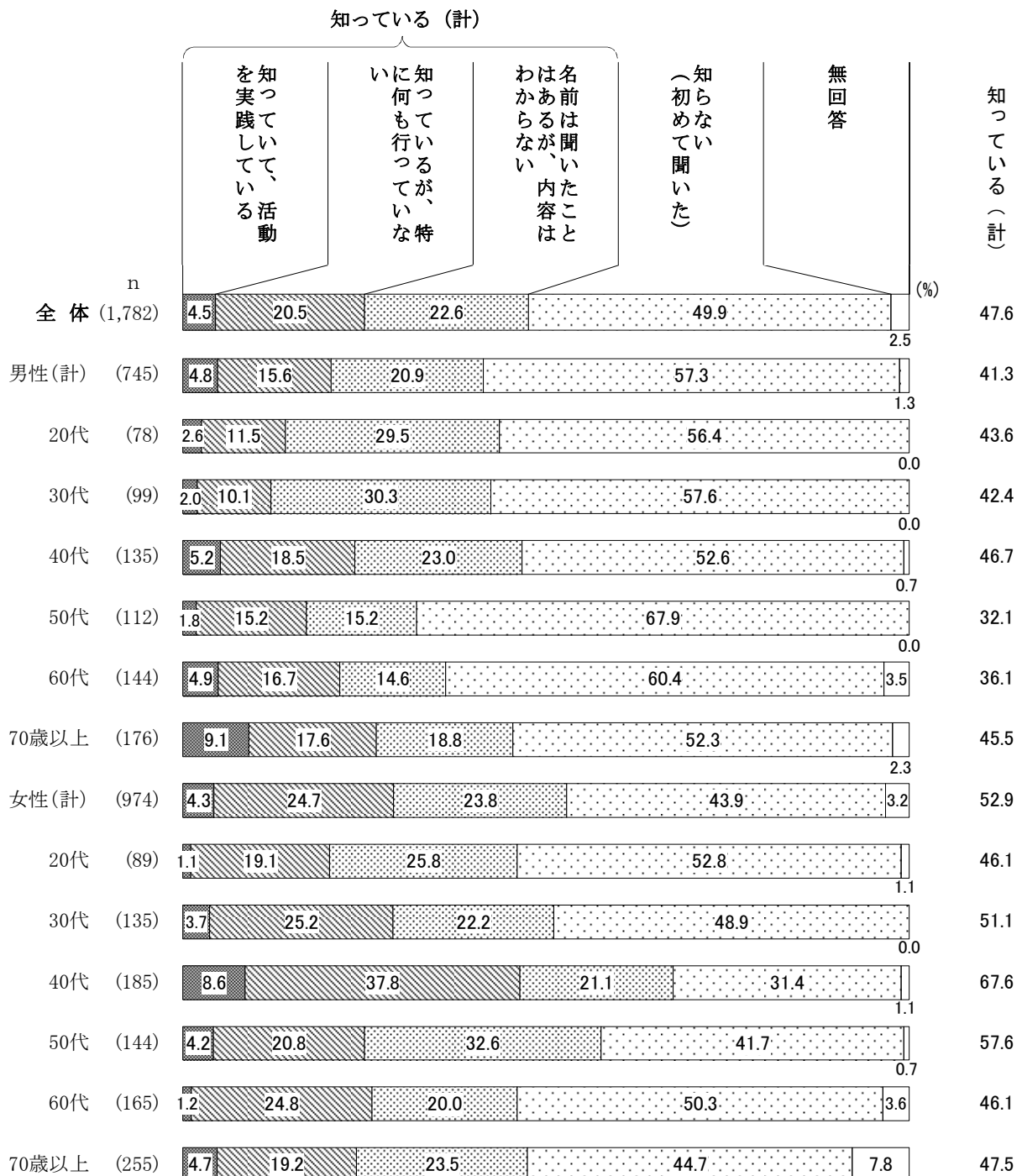


性別でみると、【知っている】は男性41.3%、女性52.9%と、男性より女性が高くなっている。

性・年代別でみると、男性では、20代から40代、70歳以上で【知っている】が4割を超えている。70歳以上では、「知っていて、活動を実践している」が9.1%と1割近くを占めている。

女性では、40代で【知っている】が67.6%と高くなっているほか、30代、50代で5割を超えている。また、40代では「知っていて、活動を実践している」が8.6%と、他の年代より高くなっている。

図7-1-3 性別、性・年代別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況



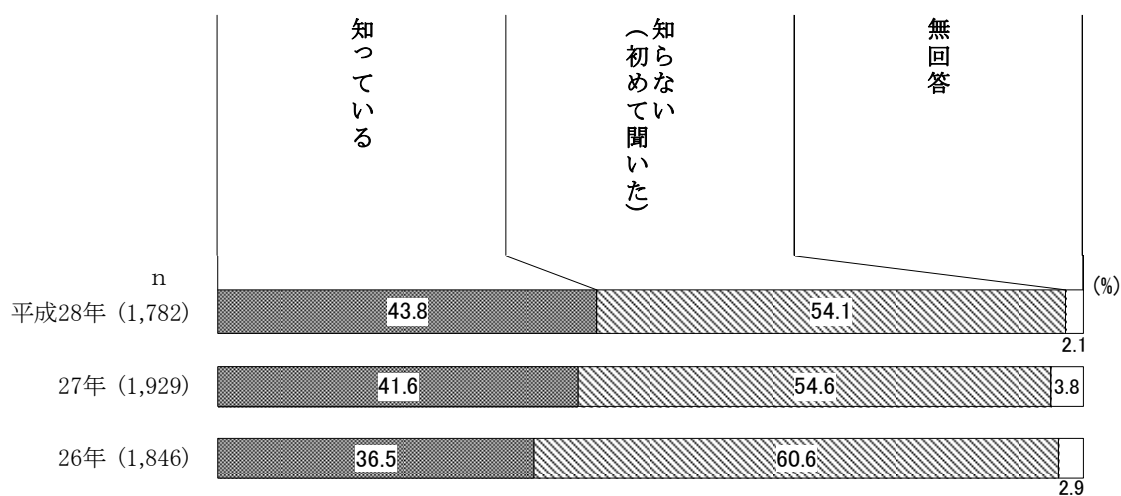
(2) 治安が改善していることの認知

■ 「知っている」が4割台半ばも増加傾向

問28 あなたは、平成27年の足立区内の刑法犯認知件数（※）が減少し、治安が改善していることを知っていますか（○は1つだけ）。

※ 警察が犯罪について、被害の届出などによりその発生を確認した件数。ただし、交通違反などを除きます。

図7-2-1 経年比較／治安が改善していることの認知

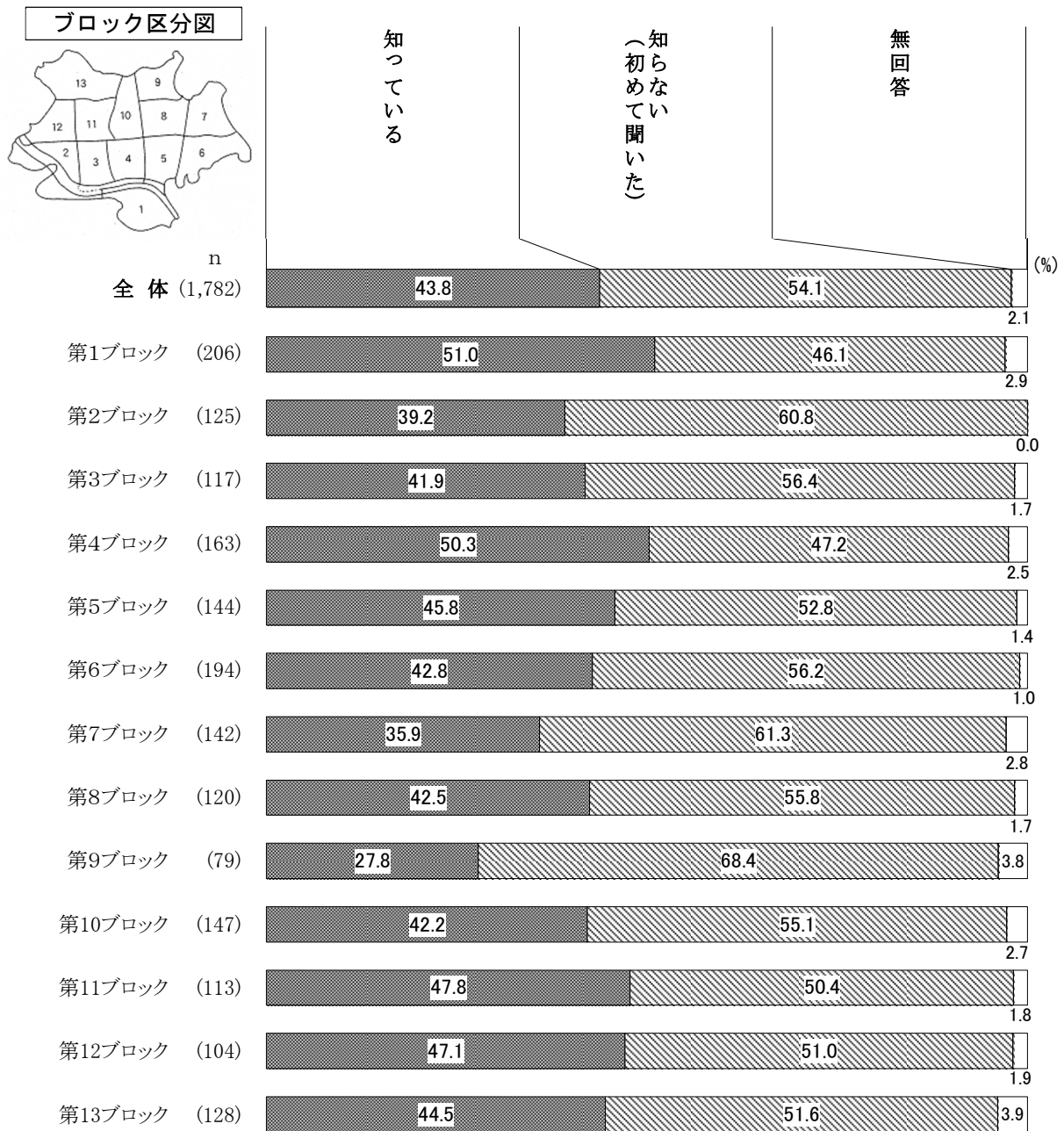


足立区内の刑法犯認知件数が減少していることを「知っている」は43.8%である。一方、「知らない」は54.1%となっている。

経年でみると、「知っている」が増加し、「知らない（初めて聞いた）」が減少している。

地域ブロック別でみると、第1ブロック、第4ブロックでは、「知っている」が、それぞれ51.0%、50.3%と5割を超えている。一方、第9ブロックでは、「知っている」が27.8%と、他のブロックに比べて低くなっている。

図7-2-2 地域ブロック別／治安が改善していることの認知



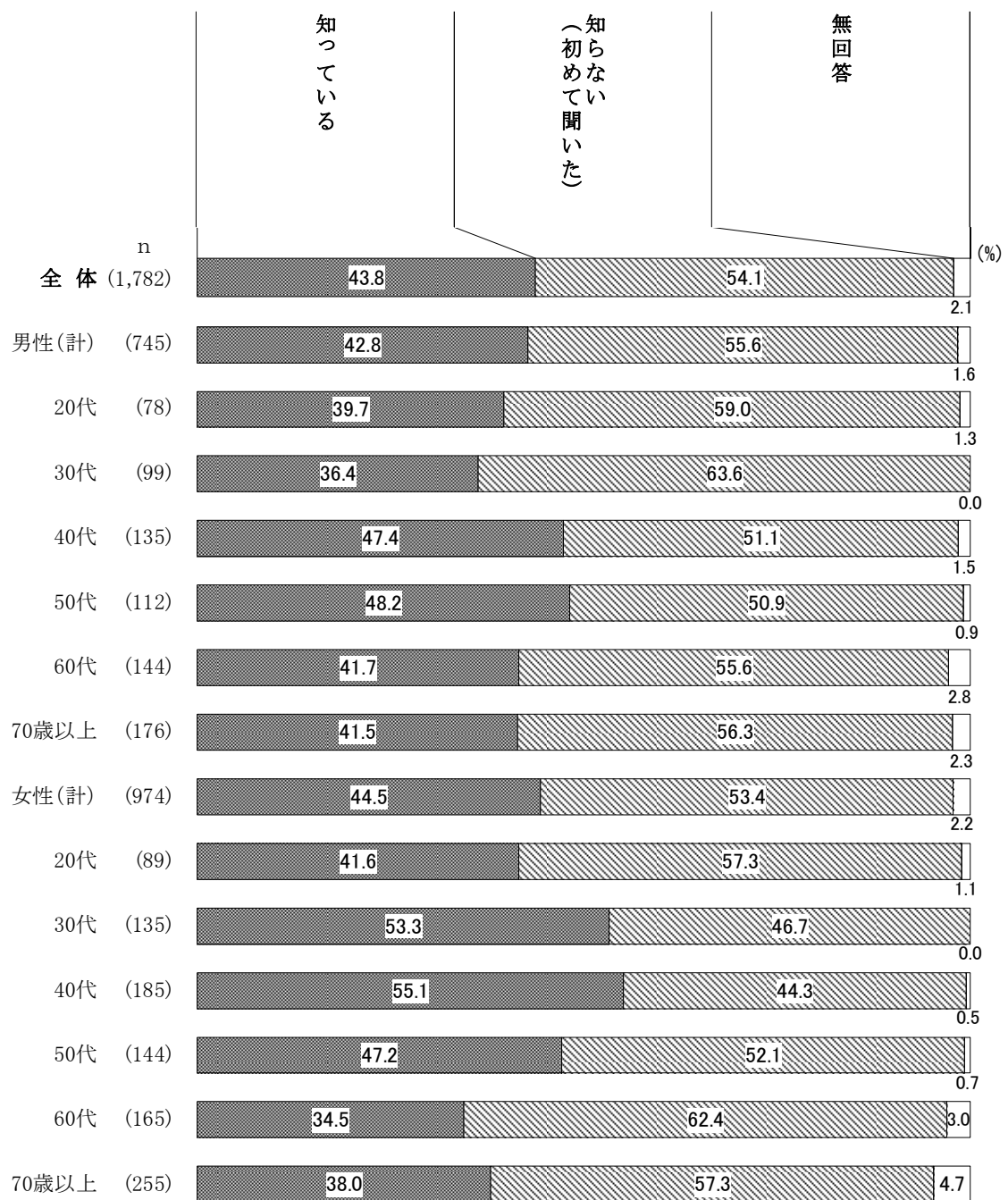
第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

性別でみると、「知っている」は男性42.8%、女性44.5%となっている。

性・年代別でみると、男性では、40代、50代で「知っている」が、それぞれ47.4%、48.2%と5割近くを占めている。

女性では、30代、40代で「知っている」が、それぞれ53.3%、55.1%と、5割を超えている。

図7-2-3 性別、性・年代別／治安が改善していることの認知



(3) 居住地域の治安状況

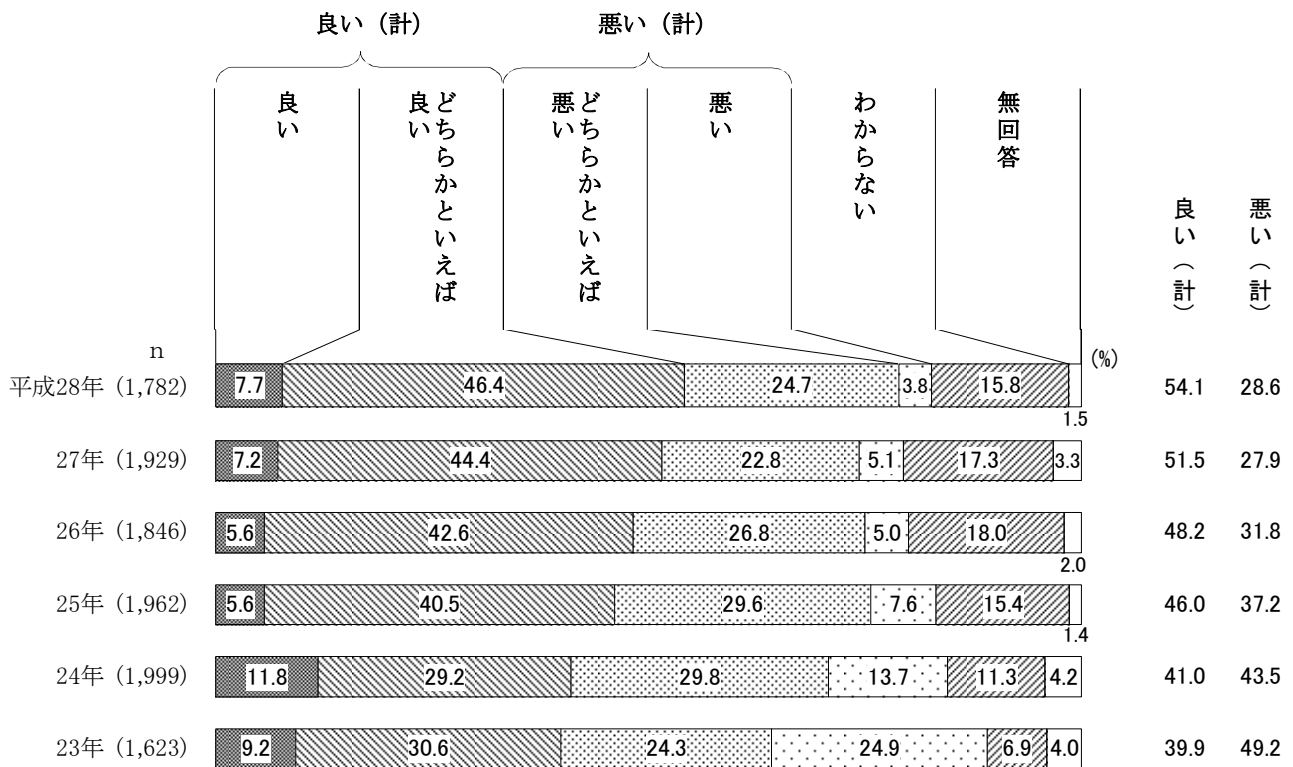
■ 【良い】は5割半ばとなり、年々上昇している

問29 あなたは、お住まいの地域の治安（※）について、どのように感じていますか。

（○は1つだけ）

※ 犯罪が少なく、世の中の秩序が保たれている状態のことです。

図7-3-1 経年比較／居住地域の治安状況



住んでいる地域の治安について、「良い」が7.7%で、これに「どちらかといえば良い」の46.4%を合わせた【良い】は54.1%である。一方、「どちらかといえば悪い」(24.7%)と「悪い」(3.8%)を合わせた【悪い】は28.6%となっている。

経年でみると、今回は【良い】が54.1%と、平成27年の51.5%を2.6ポイント上回り、平成22年以降、増加傾向が続いている。

第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

地域ブロック別でみると、【良い】は第1ブロックで70.4%と最も高く、以下、第6ブロック（56.7%）、第4ブロック（55.8%）の順となっている。一方、第9ブロック、第12ブロックでは【悪い】が、それぞれ40.5%、39.4%と、他のブロックに比べて高くなっている。

図7-3-2 地域ブロック別／居住地域の治安状況

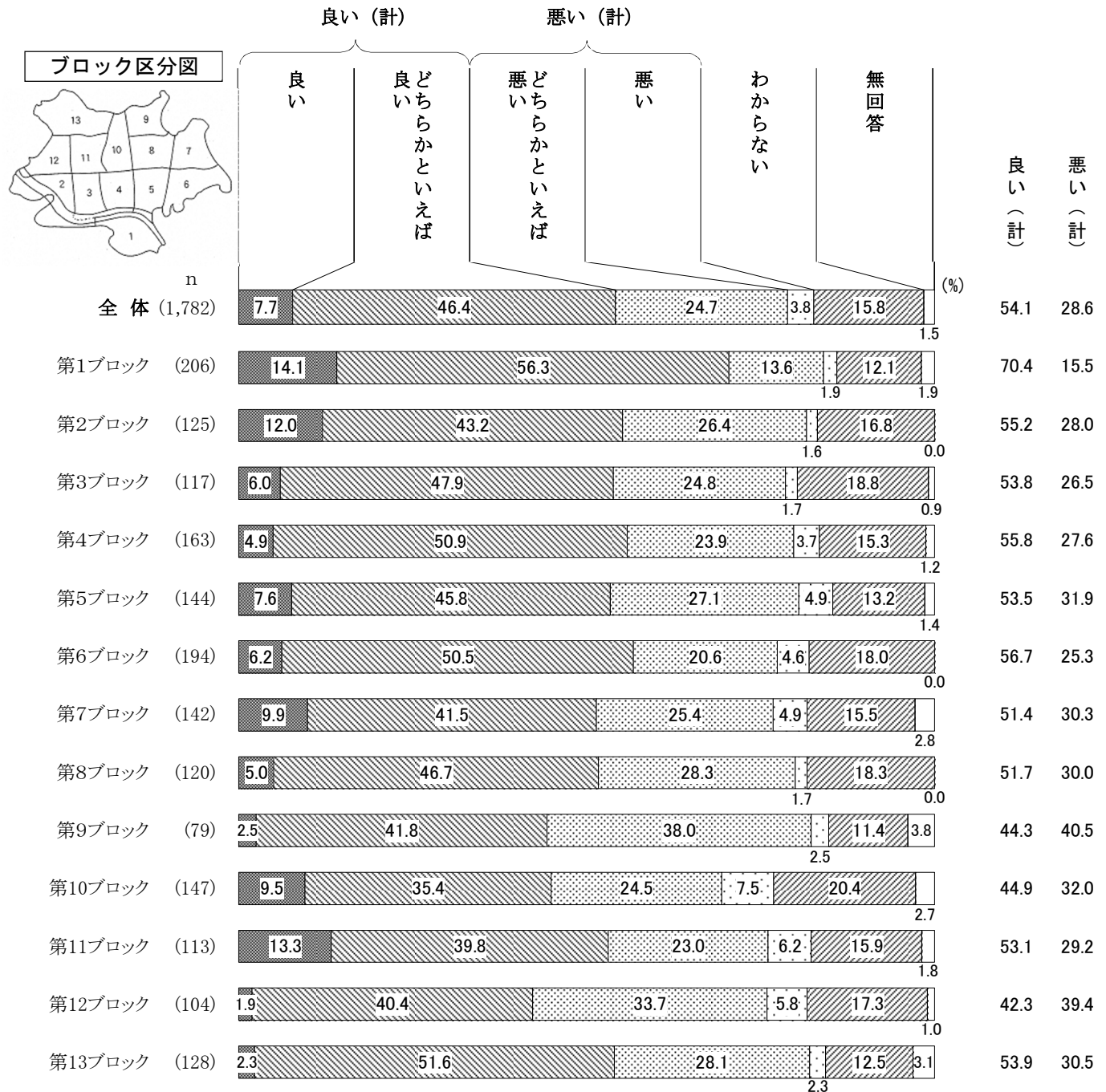
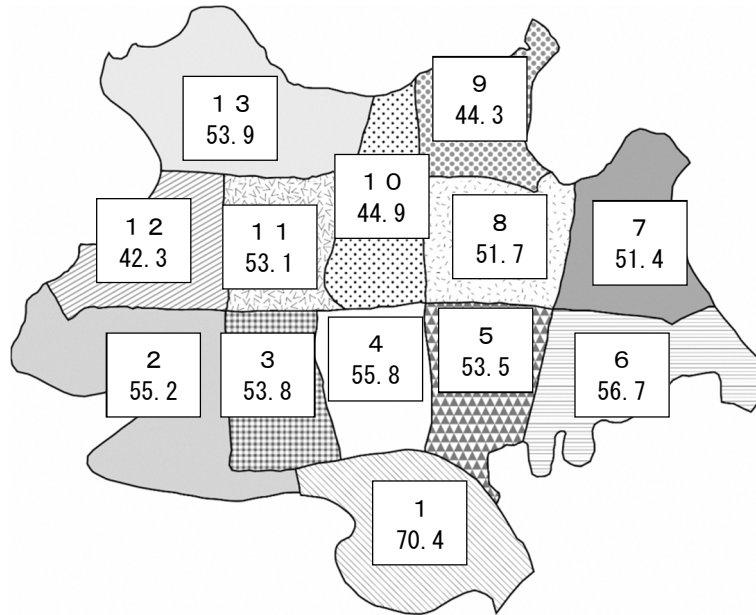
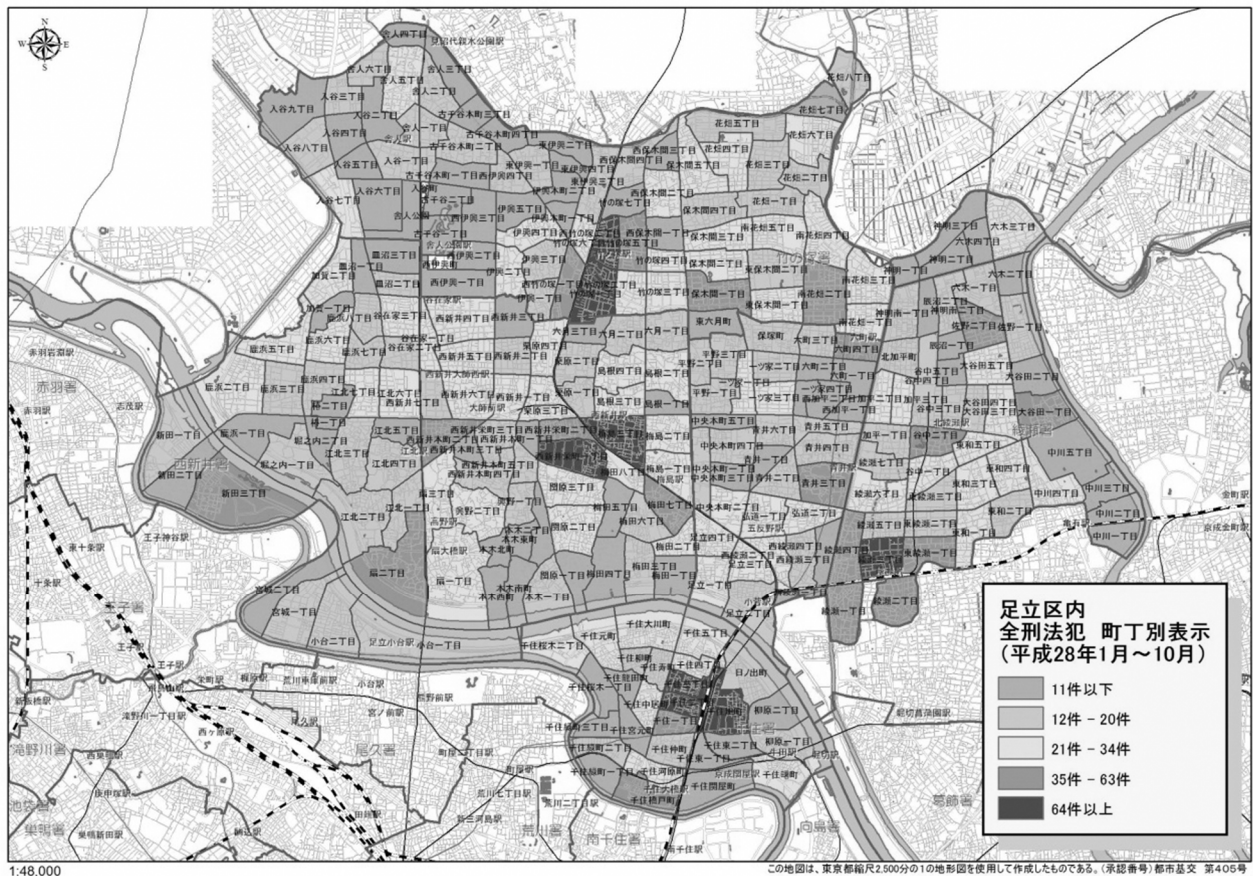


図7-3-3 ブロック区分図／居住地域の治安状況
(上段：ブロック番号、下段：治安が【良い】と答えた回答者の割合%)



【参考資料】区内全刑法犯認知件数

警視庁作成の資料によると、北千住、西新井、竹の塚、綾瀬の駅周辺で刑法犯認知件数が多いになっている。全件数のうち自転車盗が全体の約4割を占めており、自転車の駐車が多い地域の件数が多くなる傾向がある。



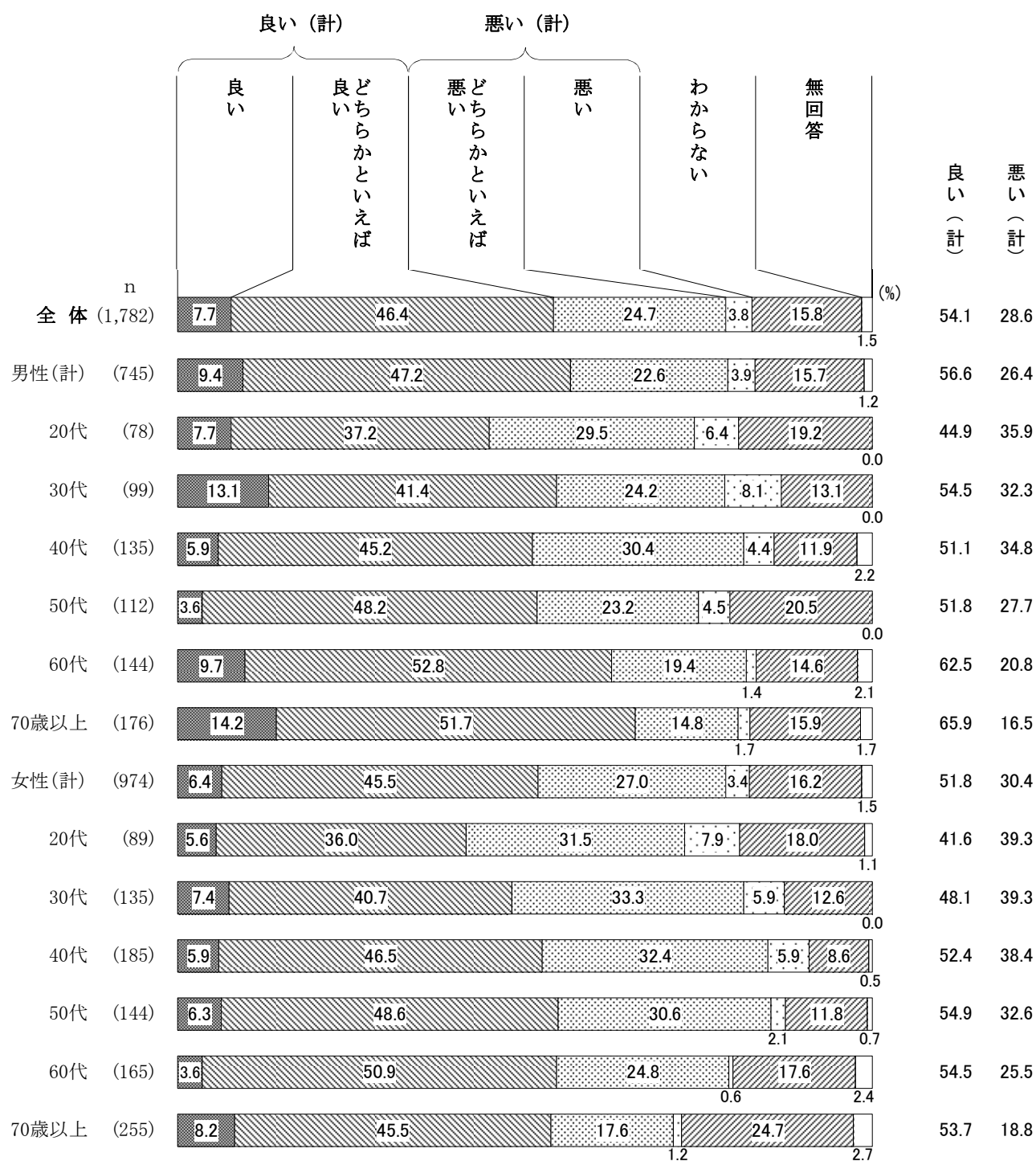
第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

性別でみると、【良い】は男性56.6%、女性51.8%となっている。

性・年代別でみると、男性では、60代、70歳以上で【良い】が、それぞれ62.5%、65.9%と、6割を超えている。

女性でも、40代以上では、【良い】が5割を超えている。

図7-3-4 性別、性・年代別／居住地域の治安状況



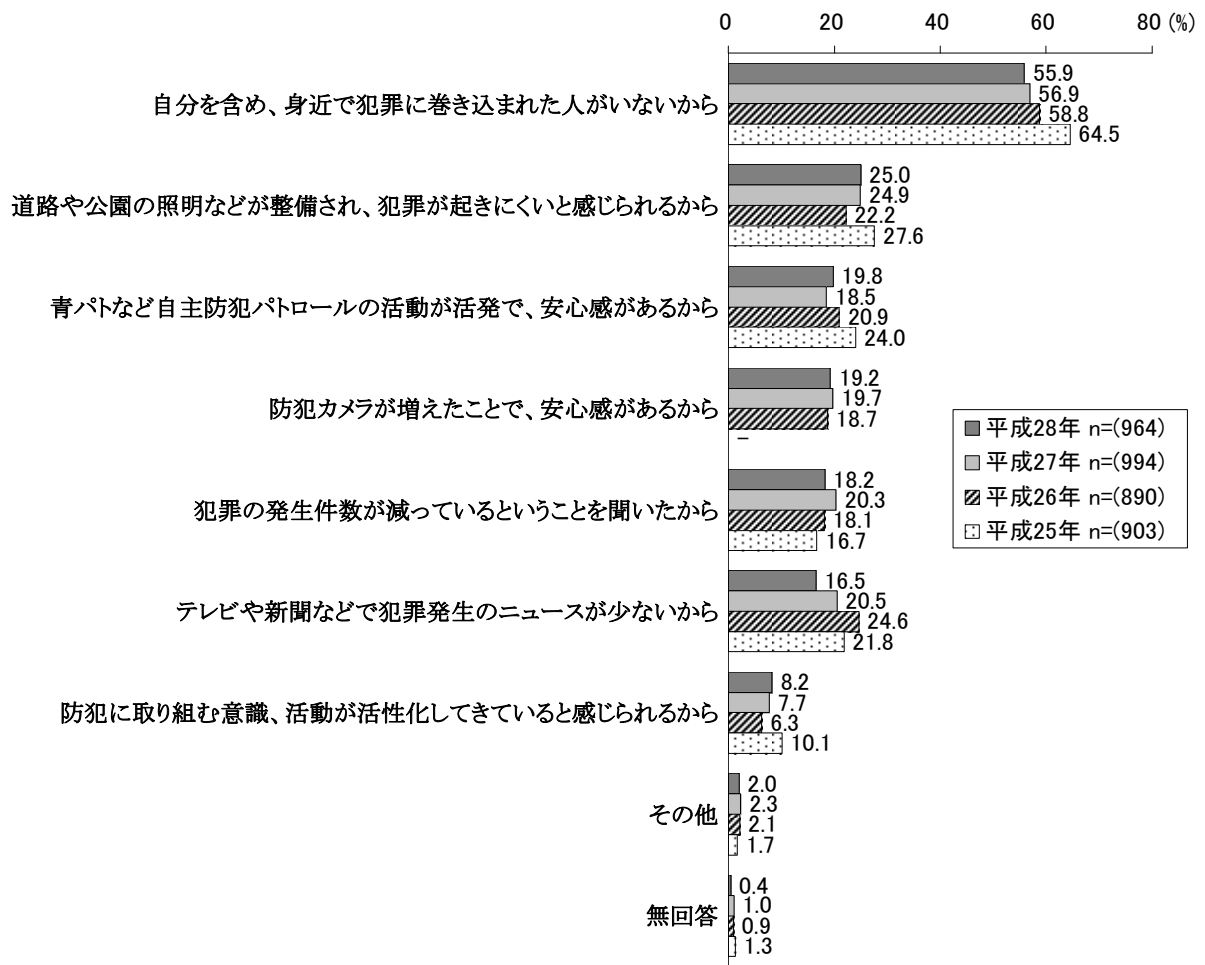
(4) 区内の治安が良いと感じる点

■ 特に多いのが“犯罪に巻き込まれた人がいないから”で、5割台半ば

問29で「1. 良い」、または「2. どちらかといえば良い」とお答えの方に

問29-1 どのような点で治安が良いと感じますか（〇は2つまで）。

図7-4-1 経年比較／区内の治安が良いと感じる点



※「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」は、26年度新設。

※「防犯に取り組む意識、活動が活性化してきていると感じられるから」は、25年度では「区全体の防犯に取り組む意識、活動が活性化してきていると感じられるから」。

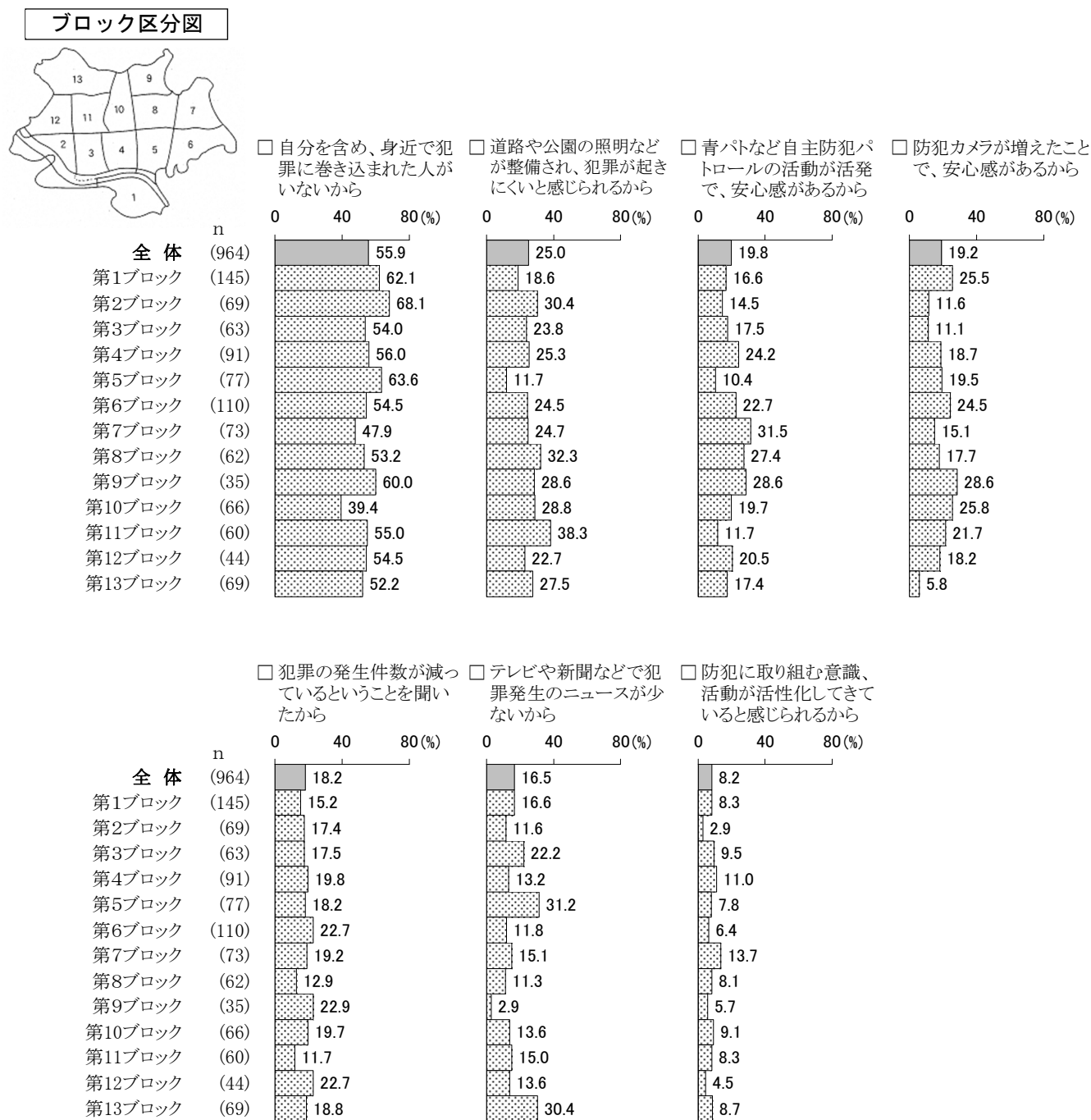
【良い】と評価した人に、その理由を聞くと、「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」が55.9%で最も高く、以下「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくいと感じられるから」（25.0%）、「青パトなどの自主防犯パトロール活動が活発で、安心感があるから」（19.8%）の順となっている。

経年でみると、「自分を含めて、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」は、今回55.9%で平成27年の56.9%より1.0ポイント低くなっており、平成25年以降の減少傾向が続いている。

第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

地域ブロック別でみると、「自分を含めて、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」は、第1ブロック、第2ブロック、第5ブロック、第9ブロックで6割台となっている。「青パトなどの自主防犯パトロール活動が活発で、安心感があるから」については、第7ブロック、第8ブロック、第9ブロックで3割前後と、他のブロックより高くなっている。また、「テレビや新聞などで犯罪発生のニュースが少ないから」は、第5ブロック、第13ブロックで、それぞれ31.2%、30.4%と、他のブロックより高くなっている。

図7-4-2 地域ブロック別／区内の治安が良いと感じる点



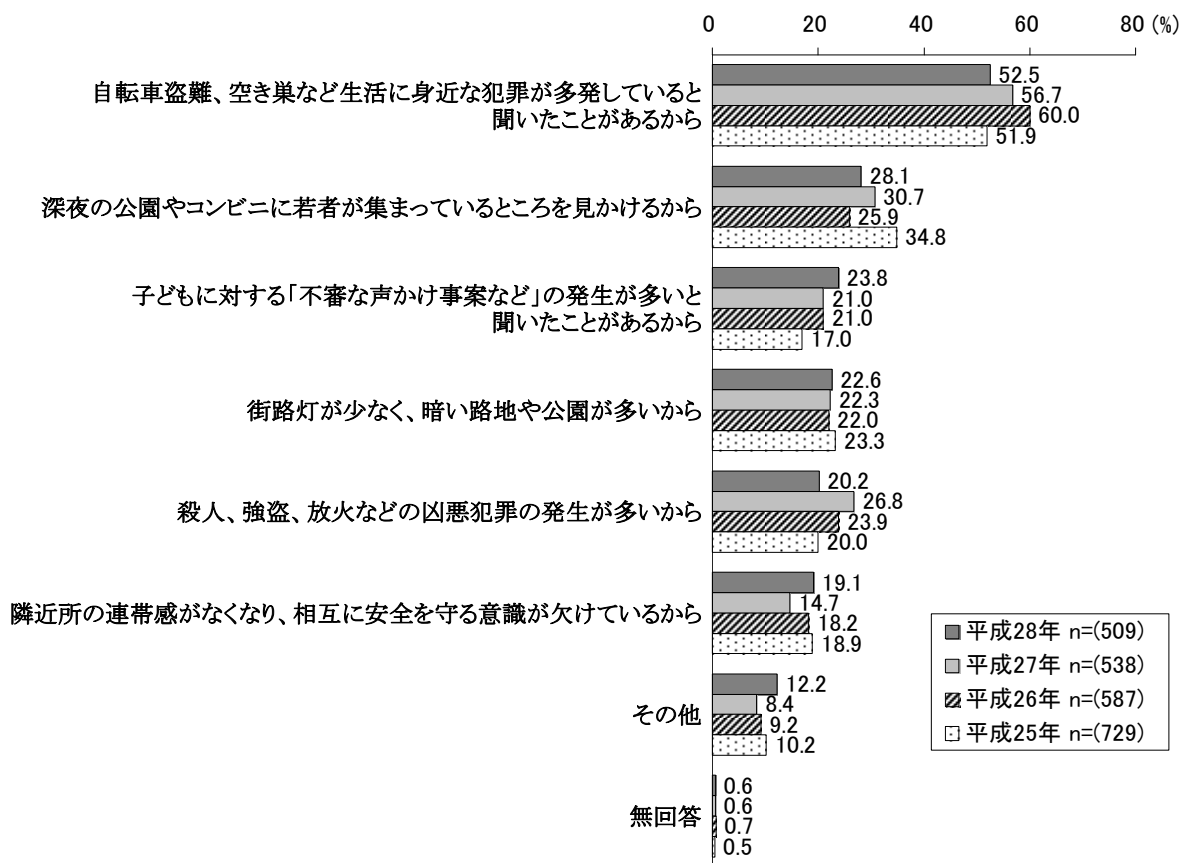
(5) 区内の治安が悪いと感じる点

■ “生活に身近な犯罪が多発していると聞いた” が5割を超えて突出するも減少傾向

問29で「3. どちらかといえば悪い」、または「4. 悪い」とお答えの方に

問29-2 どのような点で治安が悪いと感じますか（○は2つまで）。

図7-5-1 経年比較／区内の治安が悪いと感じる点



※「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」は、25年度では「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発しているから」。

※「子どもに対する『不審な声かけ事案等』の発生が多いと聞いたことがあるから」は、25年度では「子どもに対する『不審な声かけ事案等』の発生が多いから」。

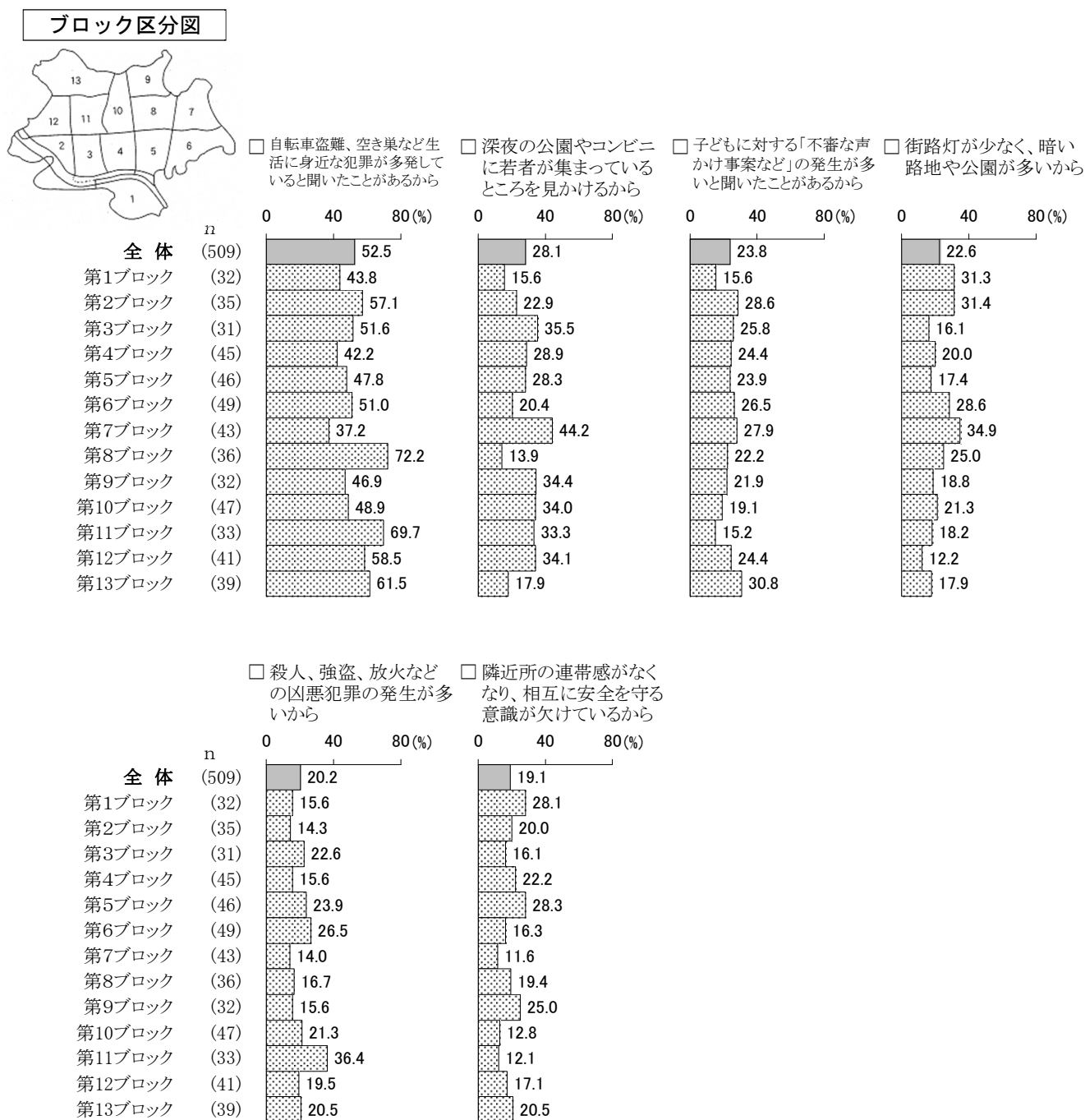
【悪い】と評価した人に、その理由を聞くと、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」が52.5%で最も高く、以下「深夜の公園やコンビニに若者が集まっているところを見かけるから」(28.1%)、「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」(23.8%)の順となっている。

経年でみると、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」は今回52.5%と、平成27年の56.7%から4.2ポイント減少している。一方、「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」「隣近所の連帯感がなくなり、相互に安全を守る意識が欠けているから」は、いずれも微増している。

第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

地域ブロック別でみると、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」は、第8ブロック、第11ブロックで、それぞれ72.2%、69.7%と、7割前後を占めている。「深夜の公園やコンビニに若者が集まっているところを見かけるから」については、第7ブロックで44.2%と最も高くなっている。また、「殺人、強盗、放火などの凶悪犯罪の発生が多いから」については、第11ブロックで36.4%と高くなっている。

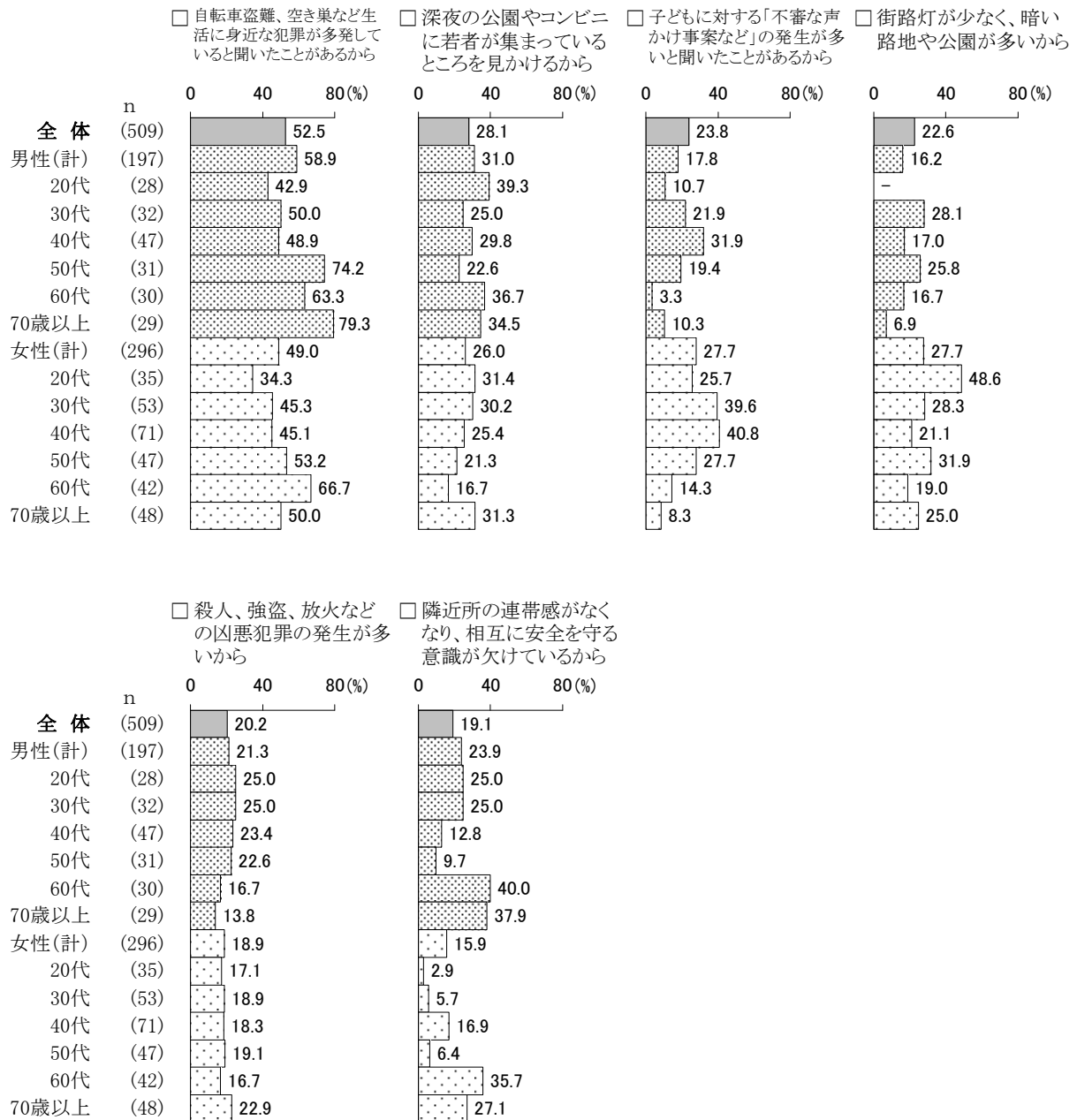
図7-5-2 地域ブロック別／区内の治安が悪いと感じる点



性別でみると、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」では、男性58.9%、女性49.0%となっている。

性・年代別でみると、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」は、男性の50代、70歳以上で7割台となっている。また、「街路灯が少なく、暗い路地や公園が多いから」については、女性の20代で5割弱と高くなっている。

図7-5-3 性別、性・年代別／区内の治安が悪いと感じる点

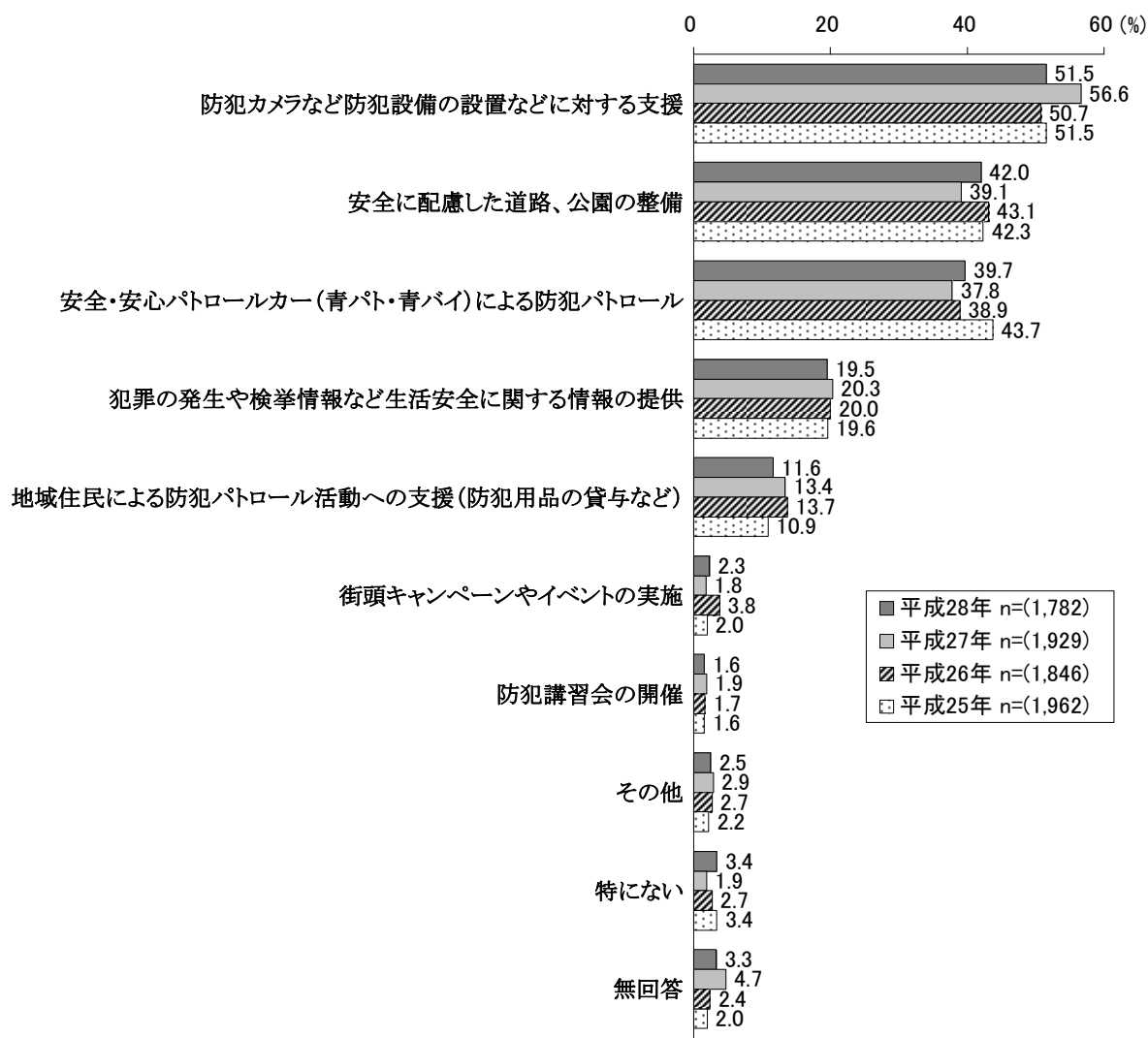


(6) 治安対策として区に力を入れてほしいこと

■ “防犯設備の設置等に対する支援” が5割強、“安全に配慮した道路、公園の整備” “防犯パトロール” が4割前後

問30 あなたが、治安対策として足立区に特に力を入れてほしいと考えていることは何ですか。
(○は2つまで)

図7-6-1 経年比較／治安対策として区に力を入れてほしいこと

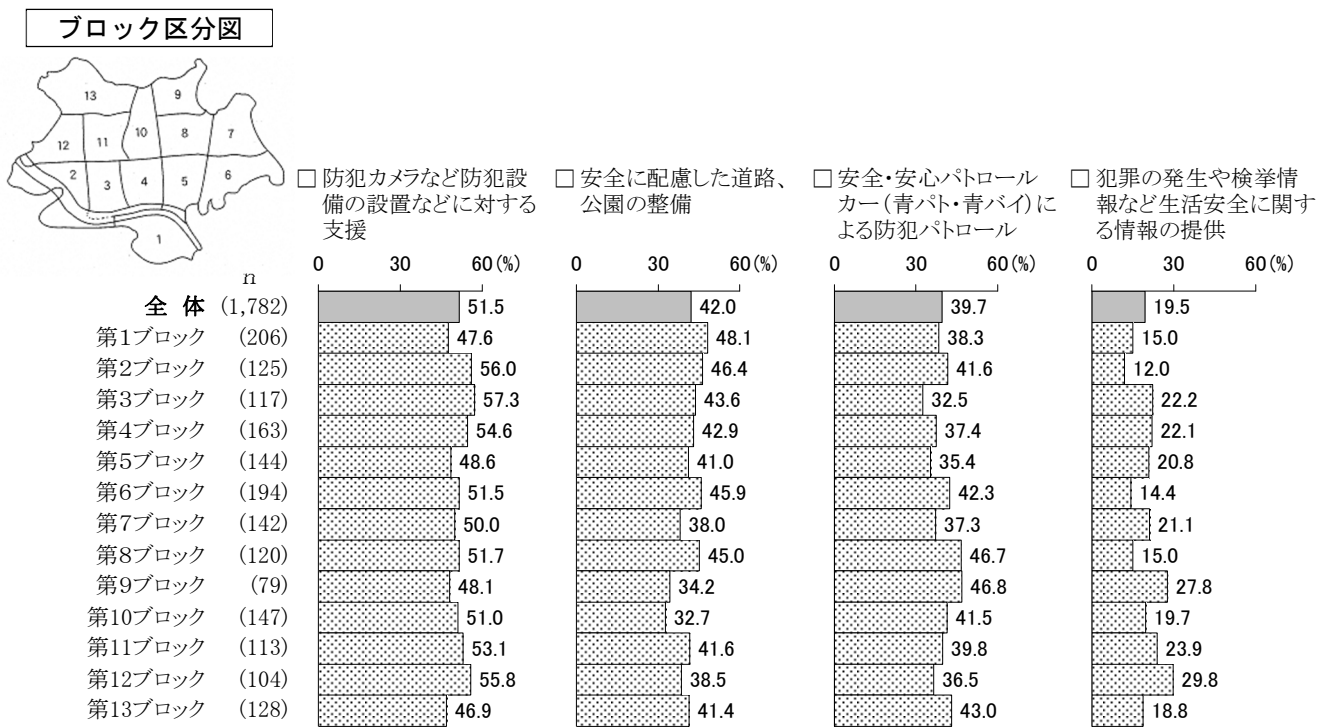


治安対策として足立区に力を入れてほしいこととしては、「防犯カメラなど防犯設備の設置などに対する支援」が51.5%で最も高く、以下「安全に配慮した道路、公園の整備」(42.0%)、「安全・安心パトロールカー(青パト・青バイ)による防犯パトロール」(39.7%)の順となっている。

経年でみると、「防犯カメラなど防犯設備の設置などに対する支援」については、今回51.5%と平成27年の56.6%から5.1ポイント減少している。一方、「安全に配慮した道路、公園の整備」「安全・安心パトロールカー(青パト・青バイ)による防犯パトロール」については、今回微増している。

地域ブロック別でみると、「防犯カメラなど防犯設備の設置などに対する支援」は、第1ブロック、第5ブロック、第9ブロック、第13ブロックを除く各ブロックで5割を超えている。「安全に配慮した道路、公園の整備」は、第7ブロック、第9ブロック、第10ブロック、第12ブロックを除く各ブロックで4割を超えている。

図7-6-2 地域ブロック別／治安対策として区に力を入れてほしいこと／上位4項目



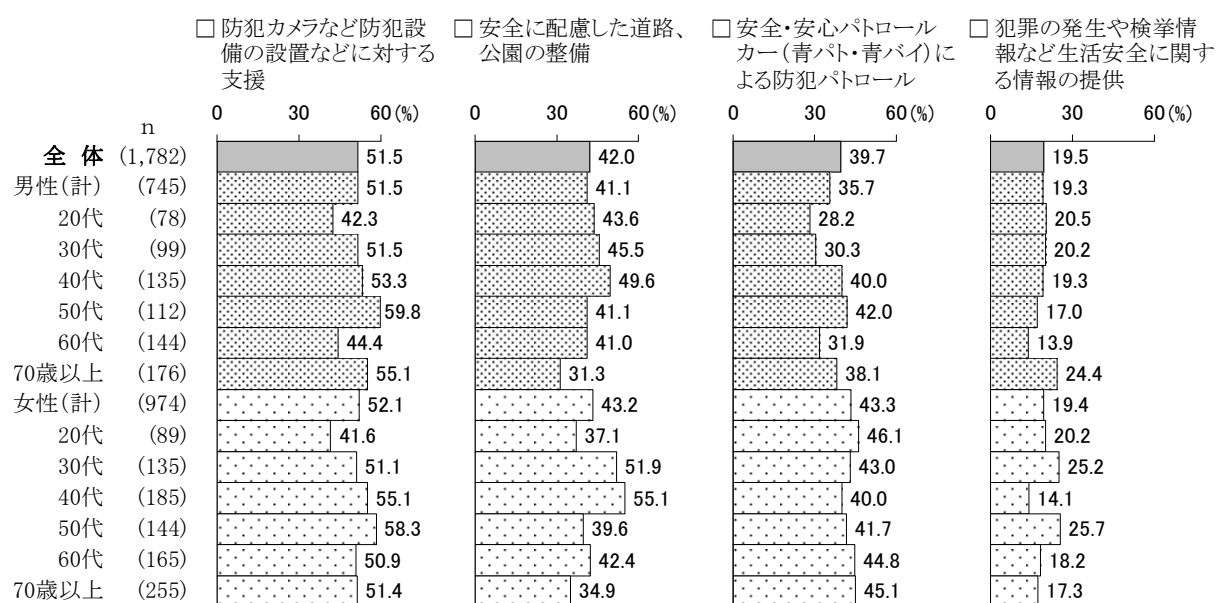
第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

性別でみると、女性では「安全・安心パトロールカー（青パト・青バイ）による防犯パトロール」が43.3%と、男性（35.7%）を上回っている。

性・年代別でみると、男性では、「防犯カメラなど防犯設備の設置などに対する支援」は、30代から50代、70歳以上で5割を超えている。「安全に配慮した道路、公園の整備」は、40代で49.6%と高くなっている。また、「安全・安心パトロールカー（青パト・青バイ）による防犯パトロール」は、40代、50代、70歳以上で4割前後を占めている。

女性では、「防犯カメラなど防犯設備の設置などに対する支援」が、20代を除く各年代で5割を超えている。「安全に配慮した道路、公園の整備」は、30代、40代で、それぞれ51.9%、55.1%と高くなっている。また、「安全・安心パトロールカー（青パト・青バイ）による防犯パトロール」は、いずれの年代でも4割を超えている。

図7-6-3 性別、性・年代別／治安対策として区に力を入れてほしいこと／上位4項目



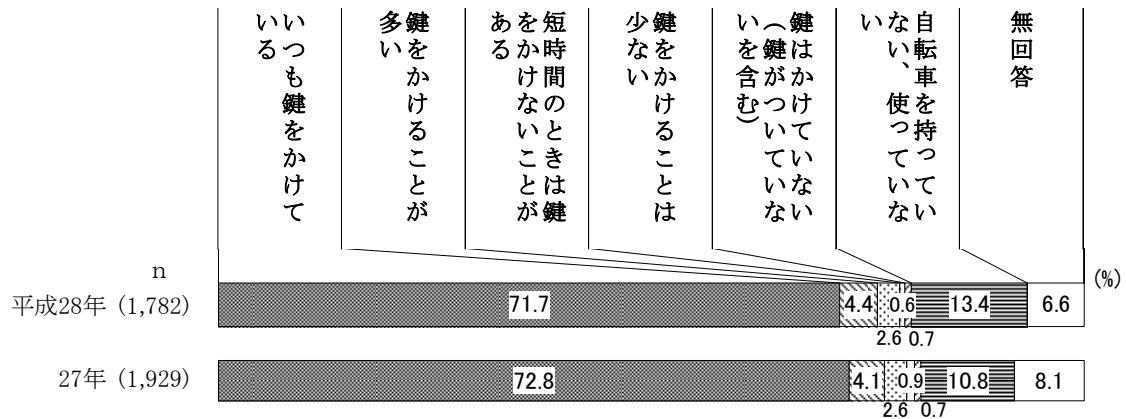
(7) 駐輪時の鍵かけ状況

■ 「いつも鍵をかけている」は、外出先7割強、敷地内6割弱と、傾向は変わらず

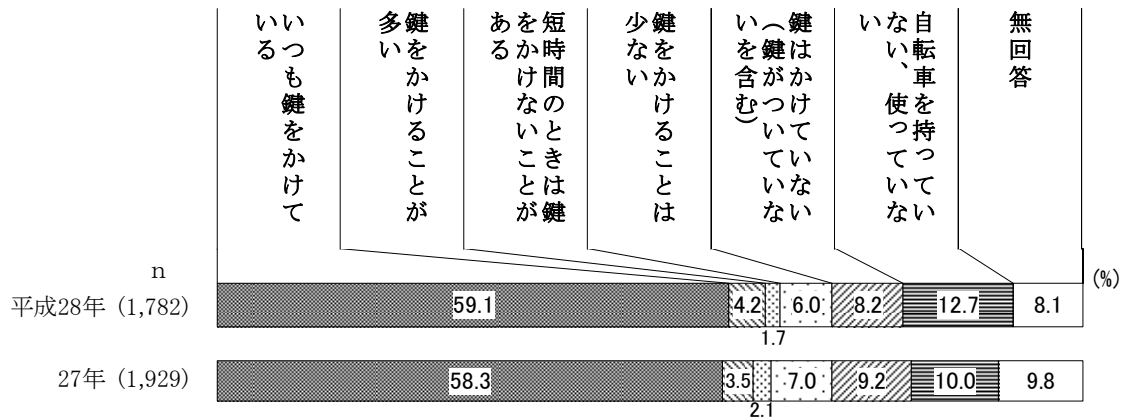
問31 あなたは、自転車を駐車するときには、自転車に鍵をかけていますか。
(○はそれぞれ1つつ)

図7-7-1 前回調査比較／駐輪時の鍵かけ状況

ア. 外出先で駐車するとき



イ. 自宅・マンションなどの敷地内に駐車するとき



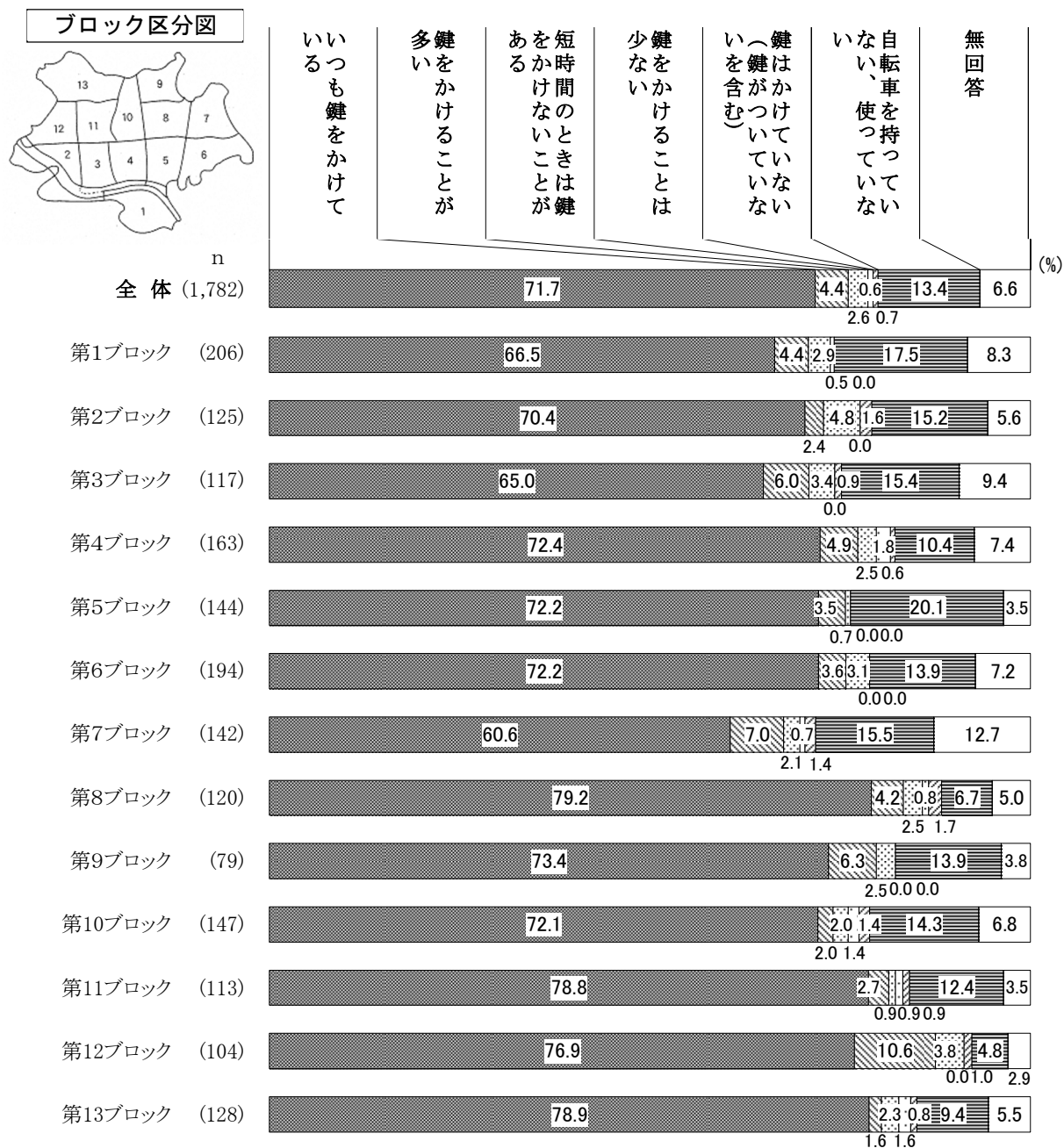
外出先で、自転車を駐車したとき、自転車に鍵をかけているか、については「いつも鍵をかけている」が71.7%で最も高く、次いで「鍵をかけることが多い」(4.4%)となっている。一方、「短時間のときは鍵をかけないことがある」は2.6%、「鍵をかけることは少ない」は0.6%、「鍵はかけていない(鍵がついていないを含む)」は0.7%となっている。

自宅・マンションなどの敷地内に自転車を駐車したとき、自転車に鍵をかけているか、については、「いつも鍵をかけている」が59.1%で最も高く、次いで「鍵をかけることが多い」(4.2%)となっている。一方、「短時間のときは鍵をかけないことがある」は1.7%、「鍵をかけることは少ない」は6.0%、「鍵はかけていない(鍵がついていないを含む)」は8.2%となっている。

第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

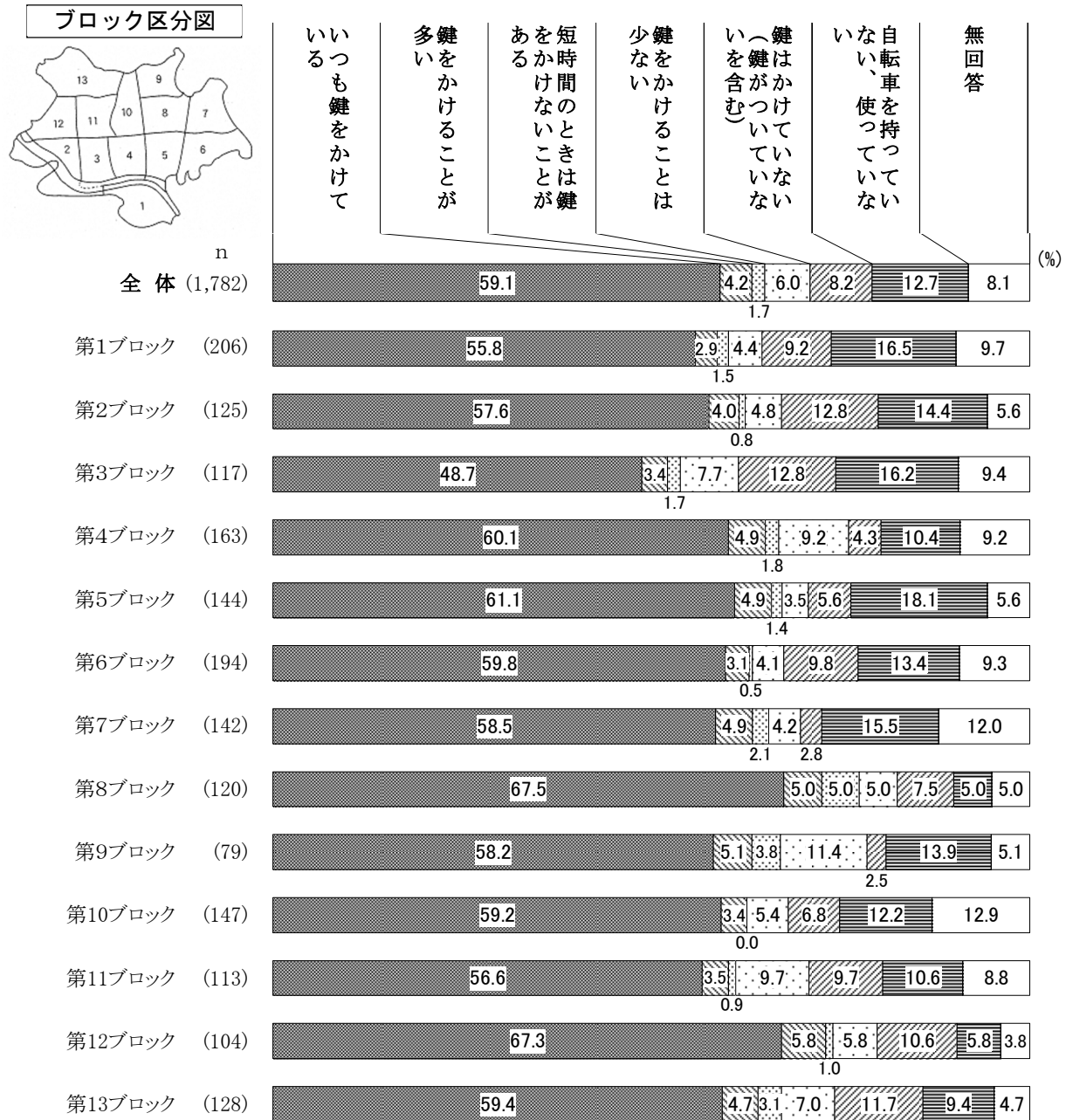
外出先で、自転車を駐車したとき、自転車に鍵をかけているかについて、地域ブロック別で見ると、第8ブロック、第11ブロック、第13ブロックでは「いつも鍵をかけている」が8割近くを占めている。

図7-7-2-① 地域ブロック別／駐輪時の鍵かけ状況／外出先



自宅・マンションなどの敷地内に自転車を駐車したとき、自転車に鍵をかけているかについて、地域ブロック別でみると、第8ブロック、第12ブロックでは「いつも鍵をかけている」が6割台半ばを超えている。

図7-7-2-② 地域ブロック別／駐輪時の鍵かけ状況／敷地内

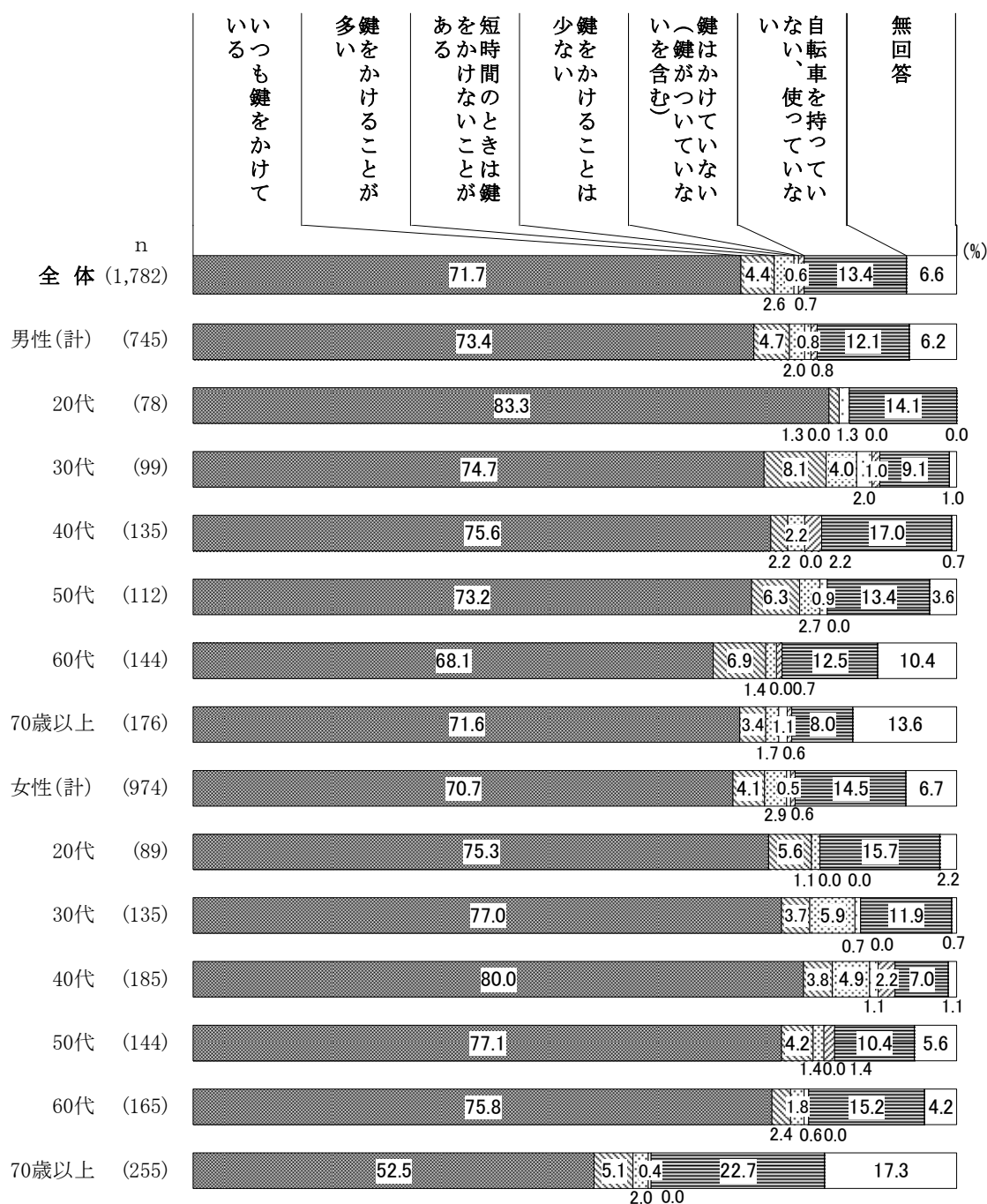


第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

外出先で、自転車を駐車したとき、自転車に鍵をかけているかについて、性別でみると「いつも鍵をかけている」は男性73.4%、女性70.7%となっている。

性・年代別でみると、70歳以上の女性を除くと、男女各年代とも「いつも鍵をかけている」が高くなっている。

図7-7-3-① 性別、性・年代別／駐輪時の鍵かけ状況／外出先



自宅・マンションなどの敷地内に自転車を駐車したとき、自転車に鍵をかけているかについて、性別でみると「いつも鍵をかけている」は男性62.1%、女性57.3%となっている。

性・年代別でみると、男性では、70歳以上を除く各年代で「いつも鍵をかけている」が6割を超えている。

女性では、20代から50代で「いつも鍵をかけている」が6割を超え、とくに30代、40代では7割近くを占めている。

図7-7-3-② 性別、性・年代別／駐輪時の鍵かけ状況／敷地内

